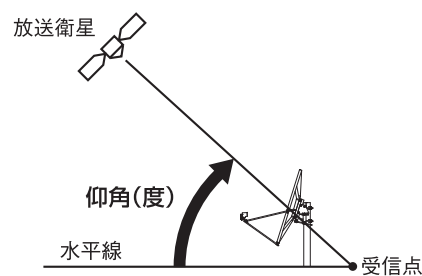


仰角と方位角

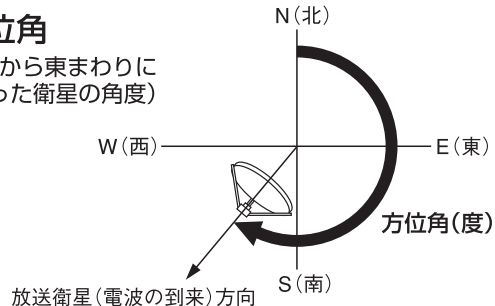
●仰角

(受信点から衛星を見上げた角度)



●方位角

(真北から東まわりに測った衛星の角度)




●主な都市の仰角と方位角(度)

都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角
北海道地方			福島	35.9	223.9	浜松	40.1	222.7	山口	44.1	215.0
稚内	29.1	220.9	郡山	36.3	224.0	豊橋	40.2	222.3	下関	44.6	214.4
北見	29.2	224.1	いわき	36.3	224.9	名古屋	40.1	221.5	四国地方		
釧路	29.6	225.1	関東地方			岐阜	40.1	221.0	高松	42.6	218.4
旭川	30.1	222.5	水戸	37.0	224.8	津	40.8	221.2	徳島	42.5	219.2
帯広	30.3	223.9	宇都宮	37.2	224.0	近畿地方			松山	43.7	217.0
岩見沢	30.9	222.2	前橋	37.9	223.1	大津	40.9	220.2	高知	43.5	218.2
札幌	31.2	221.7	千葉	37.8	224.9	奈良	41.2	220.4	九州地方		
小樽	31.3	221.3	さいたま	37.9	224.2	京都	40.9	220.1	北九州	44.7	214.3
室蘭	32.0	221.8	東京	38.1	224.4	大阪	41.4	220.2	福岡	45.2	213.9
函館	32.5	221.7	横浜	38.3	224.5	和歌山	42.0	219.9	佐賀	45.6	214.0
東北地方			中部地方			神戸	41.6	219.6	佐世保	46.0	213.2
青森	33.3	222.3	新潟	36.6	222.1	姫路	41.8	218.8	長崎	46.3	213.8
八戸	33.1	223.4	長野	38.2	221.9	中国地方			大分	44.9	215.9
弘前	33.6	222.1	松本	38.6	221.9	鳥取	41.4	217.8	熊本	45.8	214.9
盛岡	34.0	223.4	富山	38.7	220.7	米子	42.0	216.7	宮崎	46.2	216.6
秋田	34.5	222.2	金沢	39.1	220.1	松江	42.1	216.3	鹿児島	47.0	215.6
仙台	35.3	224.0	福井	39.8	219.9	岡山	42.3	217.9	沖縄地方		
鶴岡	35.5	222.5	甲府	38.7	223.0	福山	42.9	217.2	那覇	53.6	215.8
山形	35.6	223.4	静岡	39.4	223.3	広島	43.4	216.2	石垣島	57.4	212.0

このようなとき	対策
テレビで確認したら 画像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの向きがズレていないか、ご確認ください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。 ●テレビやレコーダーなどのアンテナ電源が「オン」(「入」または「運動」)など電源供給になっているか、ご確認ください。(共同アンテナの場合は不要)(確認方法は、お手持ちのテレビやレコーダーなどの説明書をご覧ください。)
テレビ画像に ノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの向きがズレていないか、ご確認ください。(雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰も考えられます。強風時のアンテナの揺れによる場合もあります。) ●同軸ケーブルの劣化も考えられますのでご確認ください。

⚠注意 上表に従って調べていただき、直らないときは、お買上げの販売店へご依頼ください。

お客様窓口	 0570-091039	ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

日本アンテナ株式会社

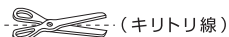
本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外觀の一部を予告なく変更することがあります。
5106248 平成28年12月

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。



保証書

型名	120SRLH	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所		
		電話番号	()
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間(お買上げ日より)	本体1年(但し消耗品は除く)		

4K8K
3224MHz対応

日本アンテナ

右左旋円偏波用120cm型 BS・110°CSアンテナ

融雪ヒーター付

Model **120SRLH**

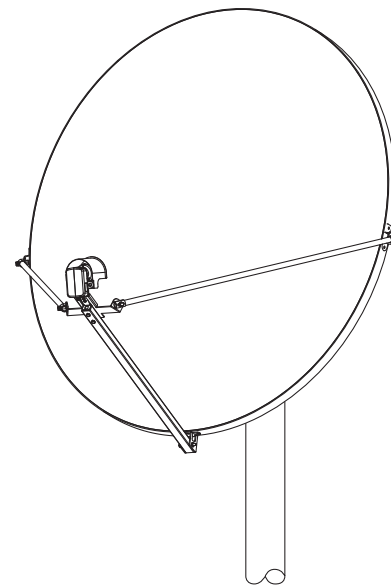
〈防水キャップ・結束バンド付〉

取扱説明書

このたびはBS・110°CSデジタル放送受信アンテナをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- 本器は現在放送中のBS・110°CSデジタル放送に加え、将来放送予定の4K・8K衛星放送にも対応しています。
- アンテナはマスト中間にも取付OK。沖縄から北海道まで、既存のマストに設置できます。仰角調整は28°~62°です。マスト中間取付時は28°~55°です。
- 強化プラスチック(FRP)を採用、強風に十分耐える構造です。
- マスト取付金具は、塩害地に最適な溶融亜鉛メッキ仕上げをしておりますので、安心してご利用いただけます。
- コンバーターは密閉構造で、耐久性に優れています。

- ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)と融雪アンテナ用電源供給器の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書(保証書付)と融雪アンテナ用電源供給器の取扱説明書と一緒に保管いただき、ご使用後はいつでも見られるところに必ず保存してください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。



- ※スカパー!プレミアムサービスは受信できません。
- ※4K・8K放送を視聴するには、別途専用受信機が必要です。

●ヒーター部

項目	性能	
融雪作動温度範囲〔℃〕	8以下	
電力〔W〕	アーム部	反射鏡部
	22.4	137.5×2
融雪ヒーター 使用気象条件	風速	降雪強度
	10m/sec以下	8cm/h以下
本融雪装置は、気象条件によって十分に融雪できない場合があります。		

●電源部

項目	性能
1次電圧〔V〕	AC100(50/60Hz)
2次電圧〔V〕	AC29~AC31.5
2次電流〔A〕	8(最大)
外形寸法〔mm〕	幅166×高さ245×奥行144
質量〔kg〕	6.0
付属品	予備ヒューズ2個 圧着端子5個 ステンレスバンド2本 圧着スリーブ4個

標準性能表

●アンテナ部

項目	性能
アンテナ有効開口径〔cmφ〕	120
受信周波数〔GHz〕	11.7~12.75
受信偏波	右旋/左旋円偏波
アンテナ利得〔dBi〕	BS帯域:41.2(標準) CS帯域:41.7(標準)
性能指数(G/T)〔dB/K〕	BS帯域:21.9(標準) CS帯域:22.4(標準)
コンバーター 局部発振周波数〔GHz〕	右旋 10.678 左旋 9.505
出力周波数〔MHz〕	1032~3224
コンバーター総合利得〔dB〕	53±5
雑音指数〔dB〕	0.5(標準)
局部発振相雑音〔dBc/Hz〕	-52以下(1kHz オフセット) -70以下(5kHz オフセット) -80以下(10kHz オフセット)
出力構造	75Ω F型接栓
使用温度範囲〔℃〕	-30~+50
電源電圧〔V〕	DC15(+13.5~+16.5)
消費電力〔W〕	2.4以下(DC15V入力時)
外形寸法〔mm〕	幅1225×高さ1328×奥行1252 (マスト径φ114.3、仰角40°の場合)
耐風速	20m/sec以下 受信可能(利得低下1dB以下) 40m/sec以下 再調整復元可能 60m/sec以下 非破壊
適合マスト径〔mm〕	φ114.3
質量〔kg〕	26.3

※表中の仕様は電源1台分の仕様です。このアンテナは、電源2台を使用します。

お客様へ

アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、必ず専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

警告

この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブル、チューナーには触れないでください。感電の原因となります。



●反射鏡には光沢ができる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線がコンバーターに集まり、やけどや故障の原因になります。



注意

この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

●アンテナは、強風の影響を受けやすいため、指定の締付トルクでしっかりと取付けてください。取付が不完全な場合、落下したり、けがの原因となることがあります。



●アンテナを改造、分解しないでください。故障の原因となることがあります。



●強風のときや雨、雪、雷など天候の悪い日は、危険ですから取付作業をおこなわないでください。



ポイント

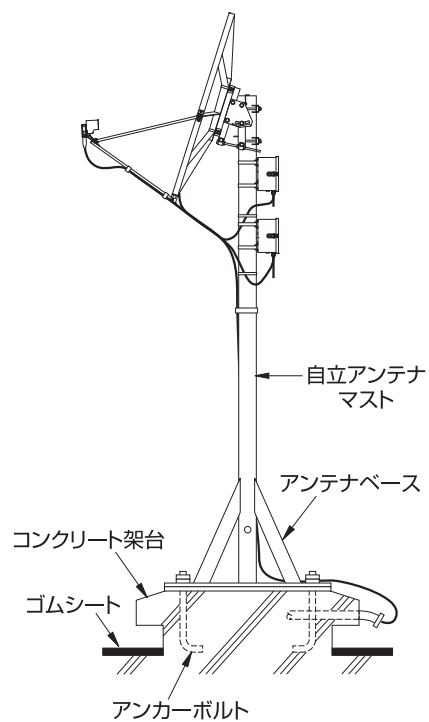
- 表示された電源電圧以外でご使用にならないでください。
- アンテナに無理な力を加えたり、ぶらさがったりしないでください。
- 故障やコンバーターから煙や、へんな臭いが出るなどの異常なときは、すぐに使用をおやめください。
- 反射鏡裏面のヒーターをはがしたり、アームに組付いているヒーターを取りはずしたりしないでください。故障の原因となります。
- 無駄な電力を消費しないよう、夏場など使用しないときは電源スイッチをOFFにすることをお勧めします。
- 持ち運びの際、反射鏡およびアームから出ているヒーターケーブルを引っ張ったり、ぶらさげたりしないでください。故障の原因となります。
- 使用中、反射鏡面が黒く変色することがありますが、変色の原因は反射鏡面よごれによるものですので、品質には問題ありません。

注意

- 設置テストは30秒以上連続しておこなわないでください。常温時での設置テストをおこない続けるとヒーターが過度に高熱を発生し、ヒーター破損の原因となるほか、火傷の恐れがありますので十分にご注意ください。

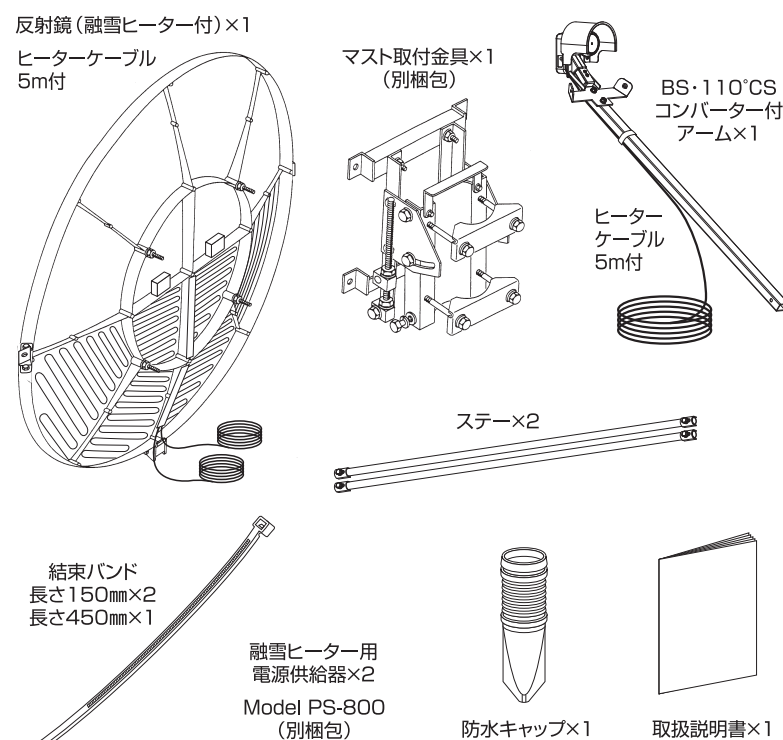
設置完成例

●自立設置例



構成部品

●下図の部品が同梱されています。開封時に欠落部品がないかご確認ください。

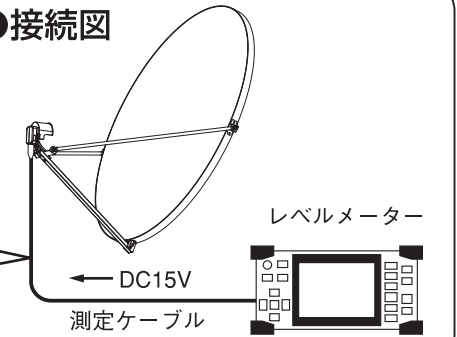


アンテナの調整方法

①電界強度測定器(レベルメーター)の接続

コンバーターとレベルメーターを右図のように接続してください。コンバーターの出力端子とレベルメーターを同軸ケーブルで接続し、レベルメーターのチャンネルを衛星受信チャンネルに合わせてください。操作方法は、お手持ちの電界強度測定器(レベルメーター)の説明書をご参照ください。

●接続図



ポイント

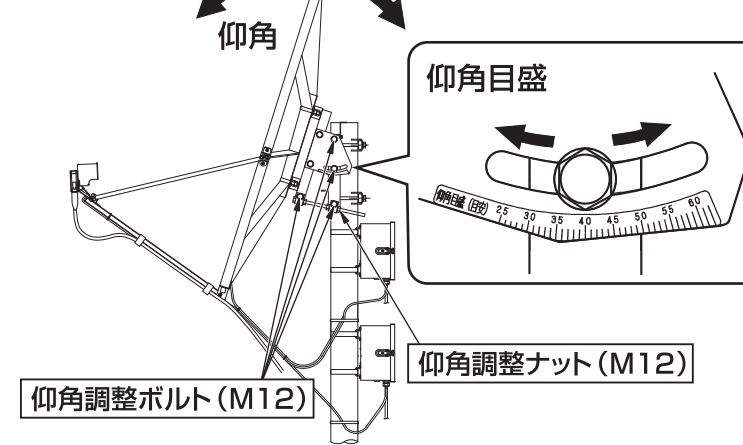
デジタル衛星放送を受信する場合は、デジタル対応レベルメーターをご使用ください。

コンバーターの動作電源はレベルメーターから供給します。

②仰角、方位角の調整 仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信しておこないます。

●別表(P.8)の「主な都市の仰角と方位角(度)」を参考にして設置場所の角度を求めます。

[仰角調整]



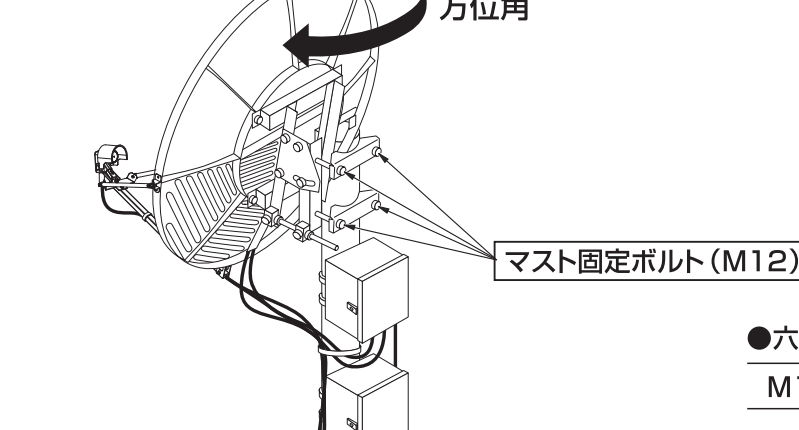
①仰角を合わせます
仰角調整ボルト(M12)と仰角調整ナット(M12)をゆるめ、長穴下部にある仰角表示目盛の仰角値に仰角調整ボルトの中心を合わせて仮止めしてください。

②方位角の設定をします
受信する衛星の設置場所に近い都市の方位角付近に合わせます。その後、レベルメーターの表示を見ながらゆっくりとアンテナを左右に回転させ、メーターの表示が最大になる位置でマスト固定ボルトを左右交互均等に基準のトルクで締付けてください。

③「①」の状態で作先仮止めしておいた仰角調整ボルト(M12)と仰角調整ナット(M12)をゆるめ、メーターの表示が最大になる位置で仰角調整ボルトと仰角調整ナットを基準のトルクで締付けてください。

④最後にテレビ画像を確認し、良好であれば調整完了です。もし、画像不良の場合は、①から③を再度、繰り返してください。

[方位角調整]



●六角ナット、ボルトの締付トルク

M12	49.6~50.3N・m(506~515kgf・cm)
-----	-----------------------------

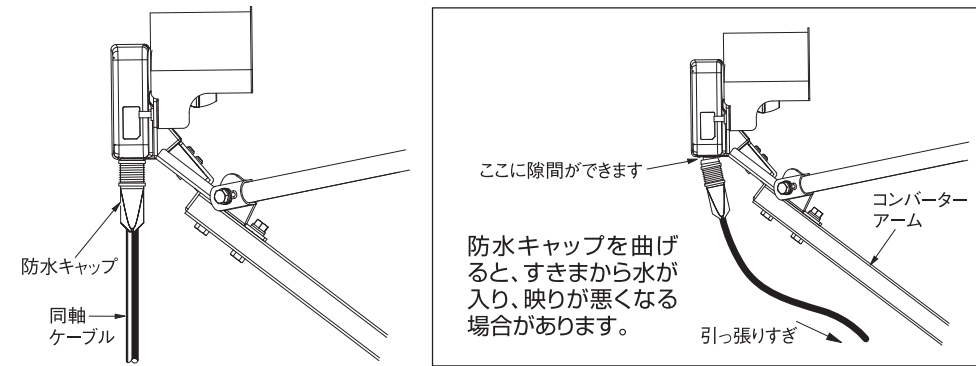
- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - ④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤カラス、ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨消耗品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪本書のご提示がない場合。
 - ⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

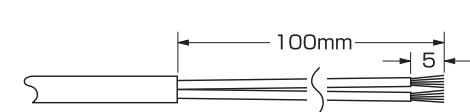
②同軸ケーブルの固定



- ①同軸ケーブルは防水キャップが折れ曲がらないように固定してください。
- ②同軸ケーブルは結束部からたるませるように固定してください。
- ③同軸ケーブル固定後、防水キャップがはずれていないかご確認ください。

③融雪ヒーター用ケーブルのつなぎかたおよび同軸ケーブルの固定方法

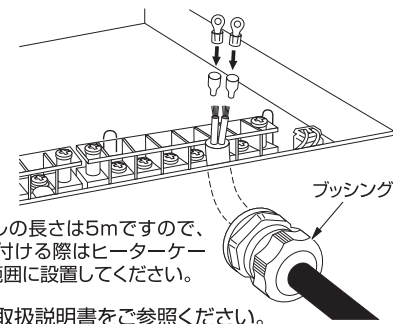
①ヒーターケーブルの加工



※お買い求めの製品のヒーターケーブルは加工されています。

②圧着端子の取付

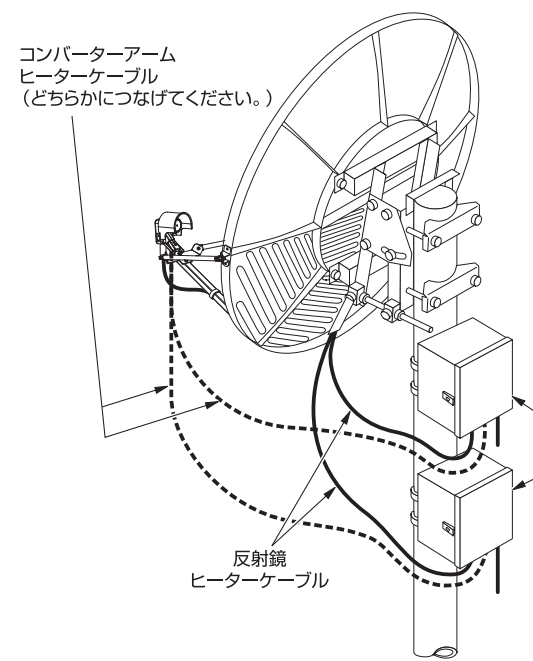
電源供給器本体のヒーターケーブル入力の防水コネクターのプッシングをゆるめ、ヒーターケーブルを通します。通したヒーターケーブルに圧着端子、スリーブ(電源供給器に付属)を圧着して、電源供給器に接続します。



※くわしい接続方法については、電源供給器の取扱説明書をご参照ください。

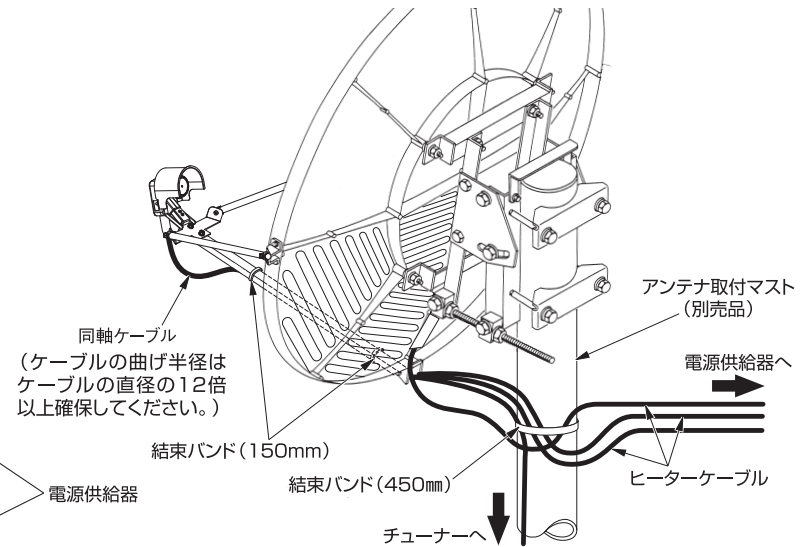
③電源供給器への取付

このアンテナは電源供給器を2台使用します。電源ケーブルを電源供給器につなげる際には、反射鏡のヒーターケーブルをそれぞれ電源供給器につなげ、アームのヒーターケーブルをどちらかの電源供給器につなげてください。



④同軸ケーブルの固定

同軸ケーブル、ヒーターケーブルは、たるませすぎると、つららができやすくなりますので、なるべくアーム、マストなどに沿わせるように固定してください。



●結束バンド使用方法

ギザギザのある面を内側にして差し込んで使用してください。

バンドの余りは点線の位置でニッパーなどで切取ります。強く引く



施工説明書

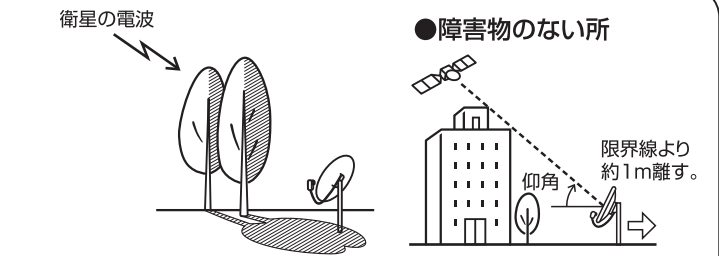
関連法規 この製品は有線テレビジョン放送法などが適用されます。

設置上の注意

下記の注意事項をお守りください。

①アンテナの設置場所をよく選ぶ

電波の到来方向が見渡せる場所に設置してください。受信方向(仰角・方位角)に山、ビル、金網、送電線、鉄塔、樹木など、障害物があると受信レベルに影響することがあります。陰にならない場所を選んで設置してください。



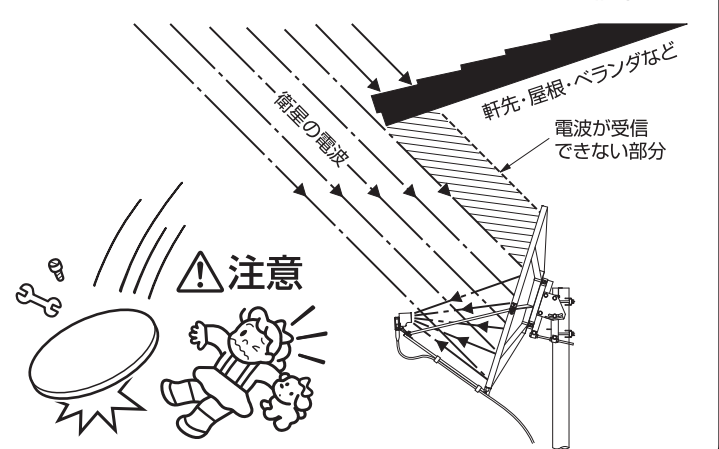
②気象条件による受信の劣化

衛星の電波は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると、電波が弱くなりブロックノイズが出たりひどい場合には、全く受信できなくなる(ブラックアウト)があります。これは気象条件によるものでアンテナやチューナーの故障ではありません。



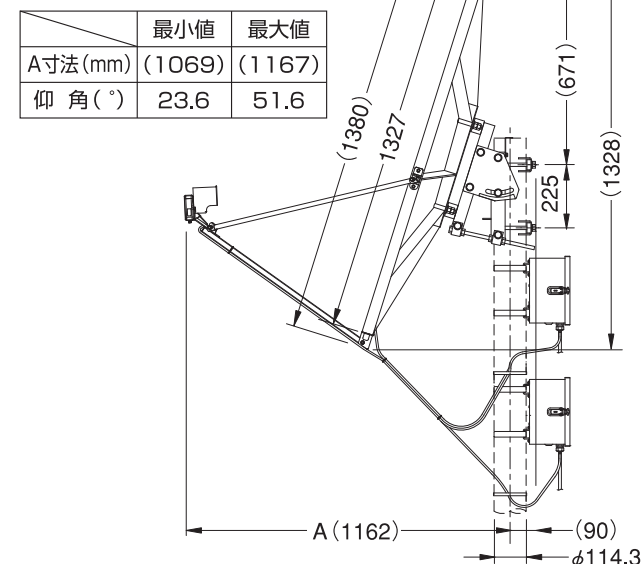
③アンテナの設置

このアンテナはUHFアンテナなどと比べて風の影響を受けやすい形状になっていますので、アンテナの取付けるマストおよび取付金具は、しっかり固定してください。屋上の設置では、地上より風の影響がさらに増大しますので、設置するときには、しっかりした足場で安全を確保したうえで施工してください。落下防止のため、丈夫なヒモでアンテナ、取付金具、工具類を結んで作業すると安心です。また、軒下などにアンテナを設置する際、軒先、屋根、ベランダなどによって電波の一部が受信障害を受け、受信に悪影響をおよぼします。このような場合には、軒先などが受信の障害とならない位置(たとえば前方または下方)にアンテナの移設が必要です。アンテナは重いので、開梱、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。

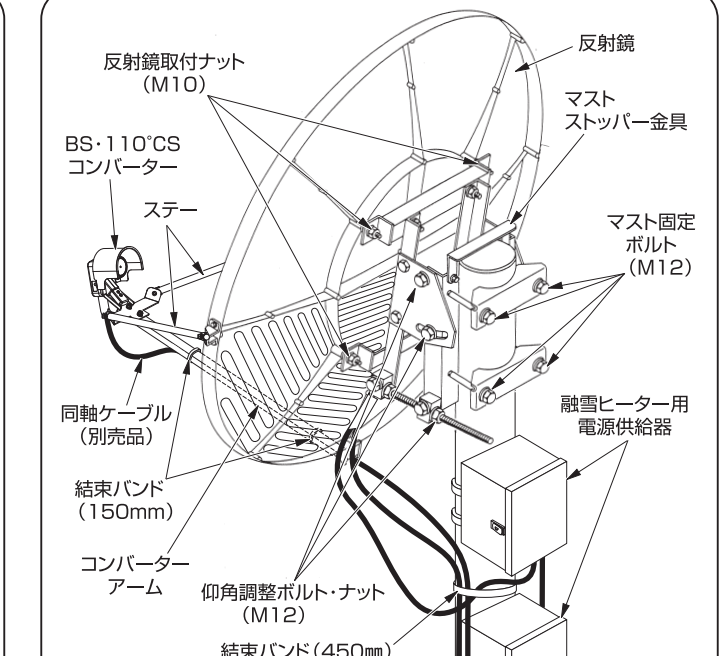


外観寸法

- 本図は、アンテナ仰角40°の場合。
- 仰角可変時のアンテナ取付マストの中心から給電部までの寸法。(目安)

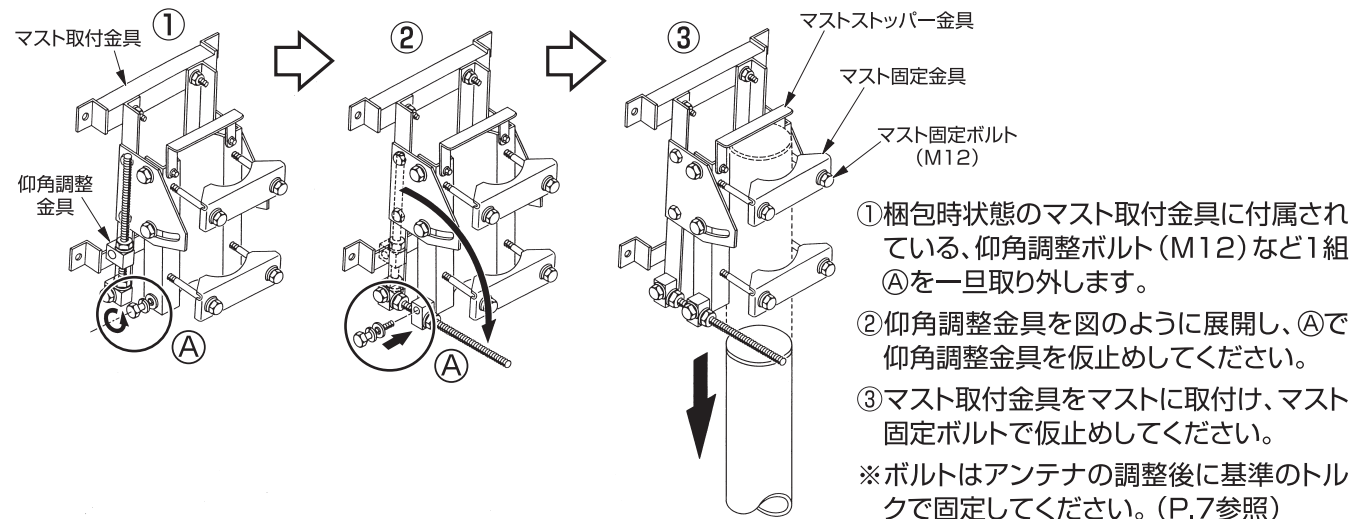


各部の名称

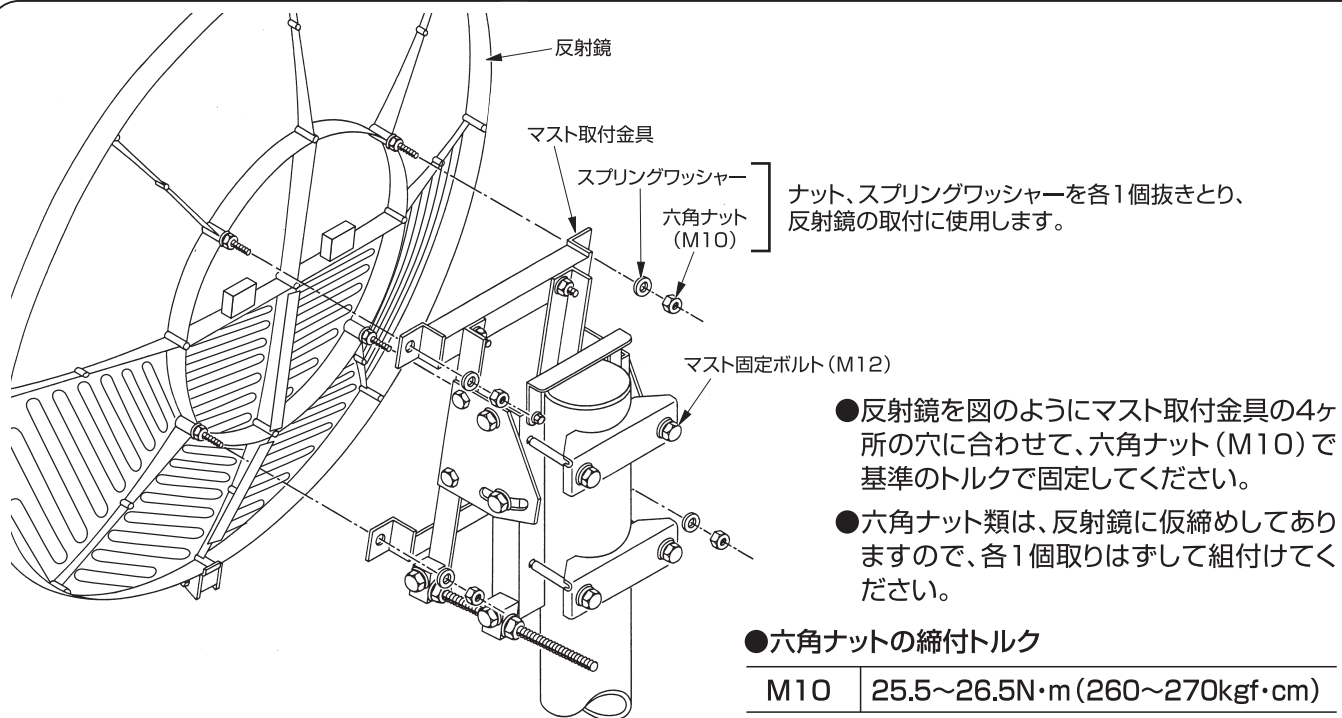


組立と取付方法

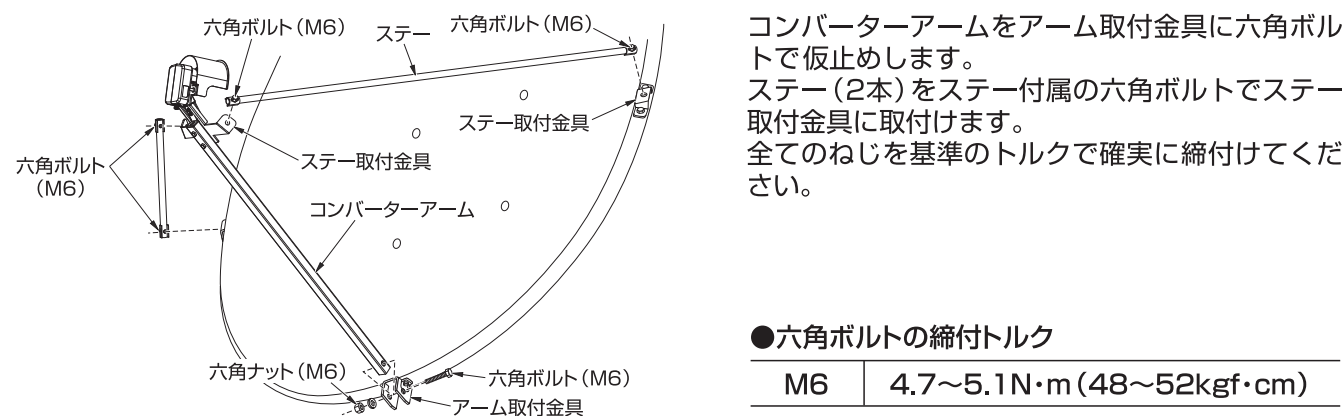
1 マストへの取付



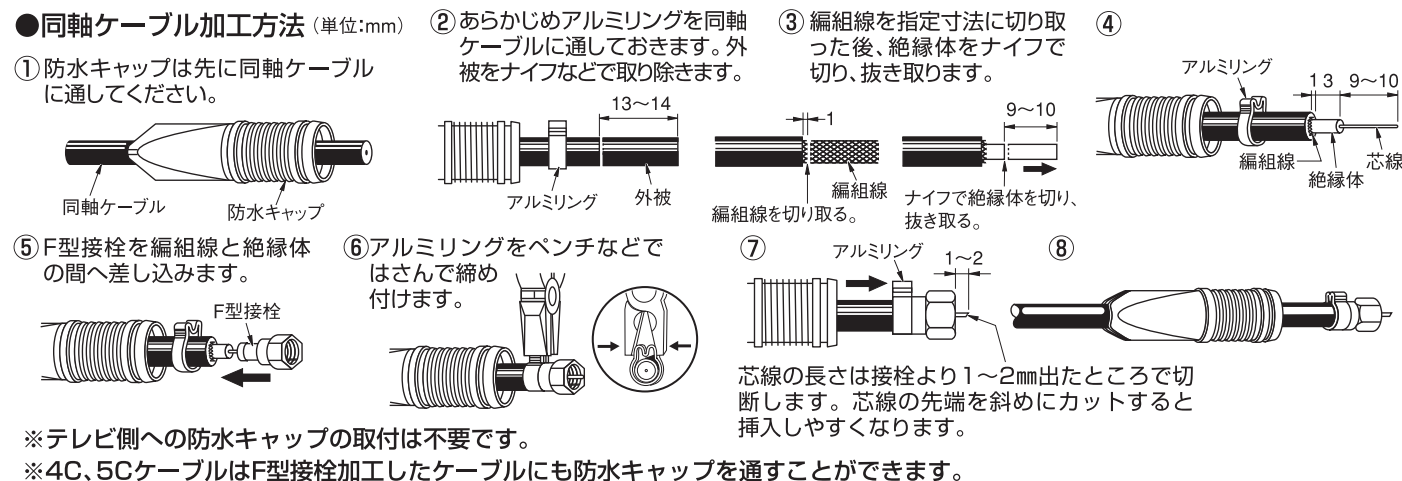
2 反射鏡の取付



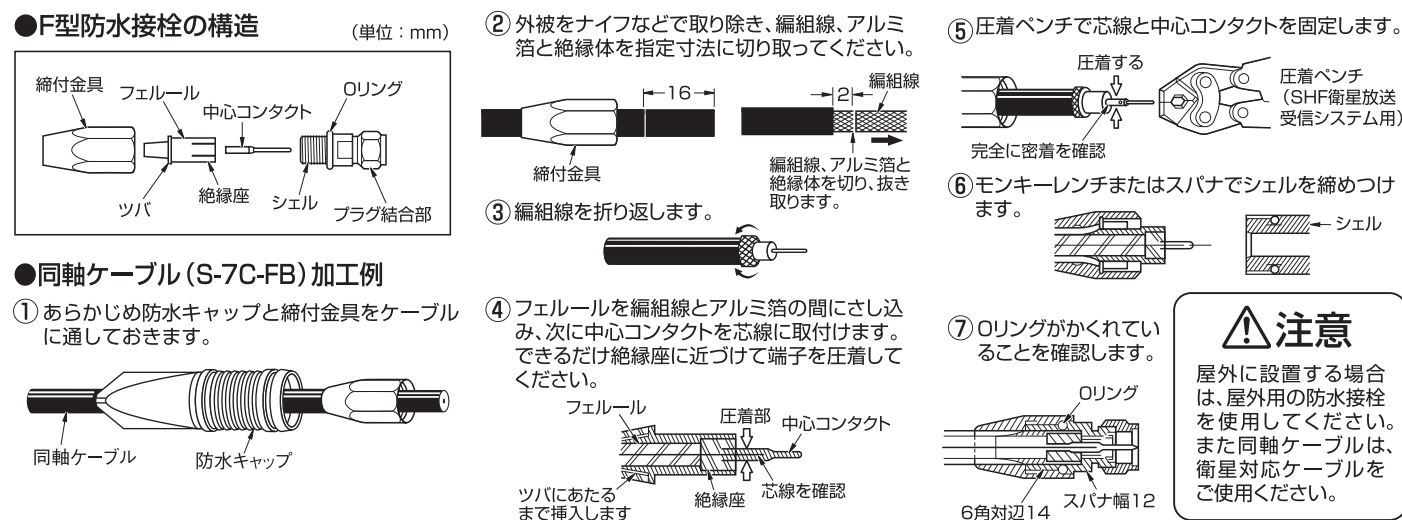
3 ステーおよびコンバーターアームの組立



F型接栓 (別売品) の取付方法と防水キャップの取付

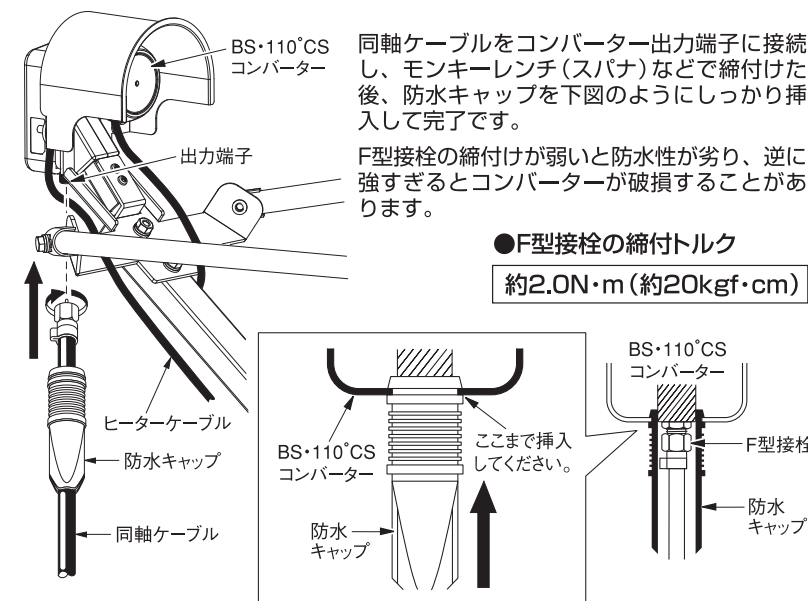


F型防水接栓の取付方法 (同軸ケーブル、接栓共に別売品)



アンテナの接続

1 コンバーターと同軸ケーブルの接続



ポイント 防水キャップ内に水が溜まると、ショートなどの受信不良の原因になります。そのため本製品の防水キャップは水が抜ける形状になっていますので、防水キャップの下端には、ビニールテープを巻かないでください。

アンテナ設置とケーブル接続のポイント

●アンテナ取付マストは垂直にたててください。
●壁面取付の場合は、壁面強度の十分あるところに取付けてください。また、できるだけ人通りのないところ、頭などをぶつけてケガをしない高さ (約2m以上) の場所に取付けてください。
同軸ケーブルをアンテナに接続する際には、コンバーターへのアンテナ電源は必ず [オフ] にしてください。電源が [オン] の状態でショートさせますと、チューナーからコンバーターへの電流が、安全装置により自動的に停止したり、再設定が必要になる場合があります。

